

道からはじまる街づくり

2025年3月期 第2四半期(中間期)  
決算説明会

2024年12月3日



日本道路株式会社  
(証券コード：1884)

《目次》

<b>2025年3月期第2四半期（中間期）決算概要</b>	◆2025年3月期第2四半期 事業環境・業績推移	1
	◆2025年3月期第2四半期 決算実績	2
	◆セグメント別業績推移① 建設事業	3
	◆セグメント別業績推移② 製造・販売事業	10
	◆セグメント別業績推移③ 共創事業	11
	◆当期純利益の増減要因分析	12
	◆2025年3月期第2四半期 貸借対照表	13
	◆2025年3月期第2四半期 キャッシュ・フロー計算書	14
<b>2025年3月期 業績予想</b>	◆2025年3月期 業績予想	15
	◆セグメント別取組方針① 建設事業	16
	◆セグメント別取組方針② 製造・販売事業	17
	◆セグメント別取組方針③ 共創事業	18
<b>TOPICS</b>	◆完成工事	19
	◆中期経営計画2024 施策進捗状況	20
<b>参考資料</b>	◆会社概要	25

# 2025年3月期第2四半期(中間期) 決算概要

HIU  
平成国際大学野球場  
HIU BASEBALL STADIUM

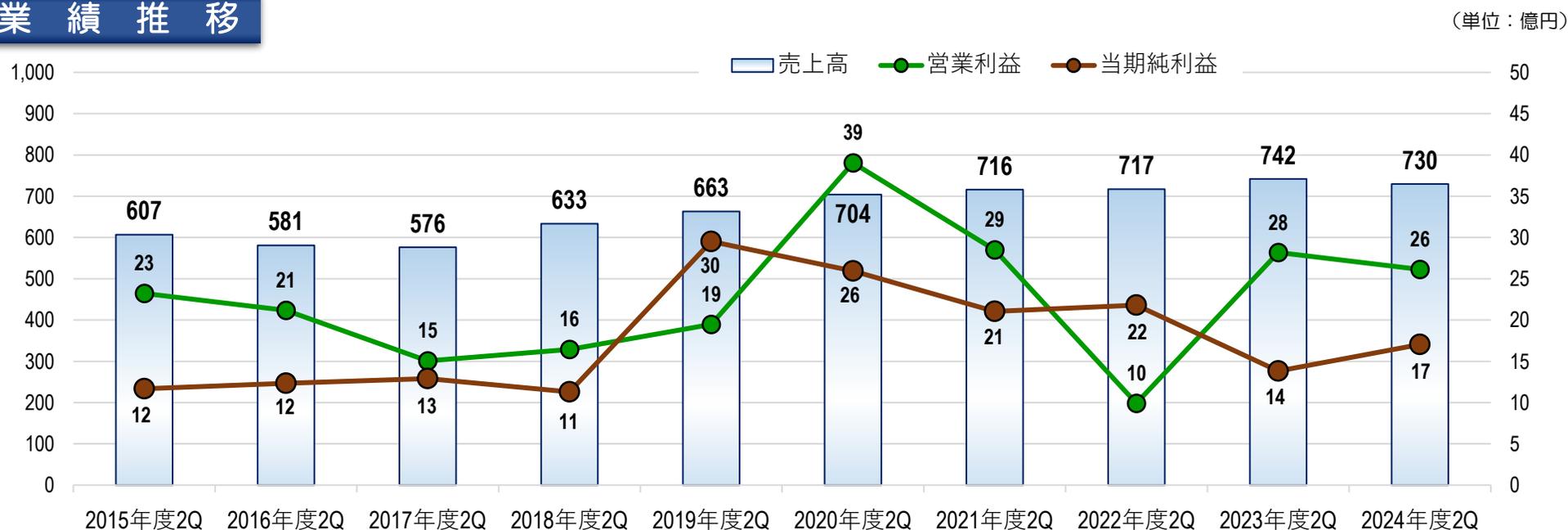
## 《2025年3月期第2四半期の事業環境・業績推移》

### 事業環境

当中間連結会計期間の日本経済は、好調な企業収益による雇用・所得環境の改善や旺盛な設備投資を背景に緩やかな回復基調で推移しました。

当社グループ（当社及び連結子会社）の主要事業である建設業界においては、政府建設投資が引き続き20兆円を上回る水準で堅調に推移する見通しであり、民間建設投資も、高水準な企業収益を背景に設備投資マインドは強く、堅調に推移しております。

### 業績推移



《2025年3月期第2四半期 決算実績》

- 2022年度2Q：原油価格の高騰により営業利益・経常利益が減少、投資有価証券売却益2,304百万円計上
- 2023年度2Q：建設事業は収益性が改善したが、製販事業は合材製造数量が減少
- 2024年度2Q：2Qまでの建設事業の受注は官庁工事を軸に好調

売上は建設事業の進捗が下半期偏重となったため前年同期比微減

利益は建設事業の採算性が向上、製販事業は為替・原油価格の影響で苦戦

(単位：百万円)

《 連 結 》	2022年度2Q 実績		2023年度2Q 実績		2024年度2Q 実績		対前年 増減率
受注高（建設事業）	68,949		69,523		74,306		6.9%
総売上高	71,709		74,295		73,063		△1.7%
売上総利益	7.7%	5,550	10.2%	7,590	10.6%	7,745	2.0%
販売費及び一般管理費	6.2%	4,458	6.4%	4,772	7.0%	5,133	7.6%
営業利益	1.5%	1,092	3.8%	2,817	3.6%	2,612	△7.3%
経常利益	1.8%	1,264	3.9%	2,910	3.8%	2,812	△3.4%
当期純利益	3.2%	2,281	2.0%	1,483	2.3%	1,705	15.0%
《 単 体 》	2022年度2Q 実績		2023年度2Q 実績		2024年度2Q 実績		対前年 増減率
受注高（建設事業）	59,979		61,673		62,627		1.5%
総売上高	62,362		64,459		63,554		△1.4%
売上総利益	6.6%	4,089	9.2%	5,935	9.4%	5,990	0.9%
販売費及び一般管理費	6.0%	3,733	6.2%	4,031	6.8%	4,350	7.9%
営業利益	0.6%	355	3.0%	1,903	2.6%	1,640	△13.8%
経常利益	0.8%	500	3.0%	1,963	2.8%	1,804	△8.1%
当期純利益	2.9%	1,826	1.4%	920	1.6%	1,044	13.4%

## 《セグメント別業績推移①》

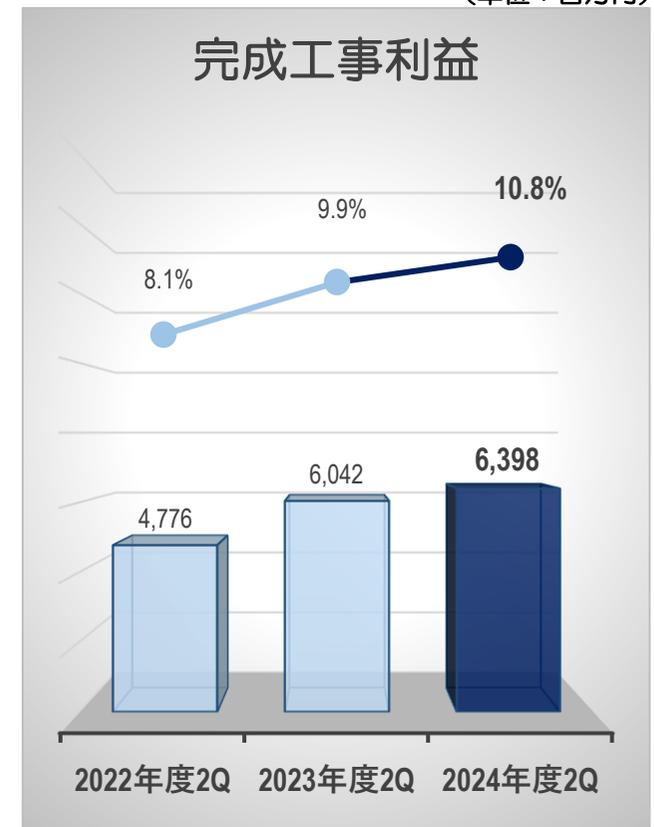
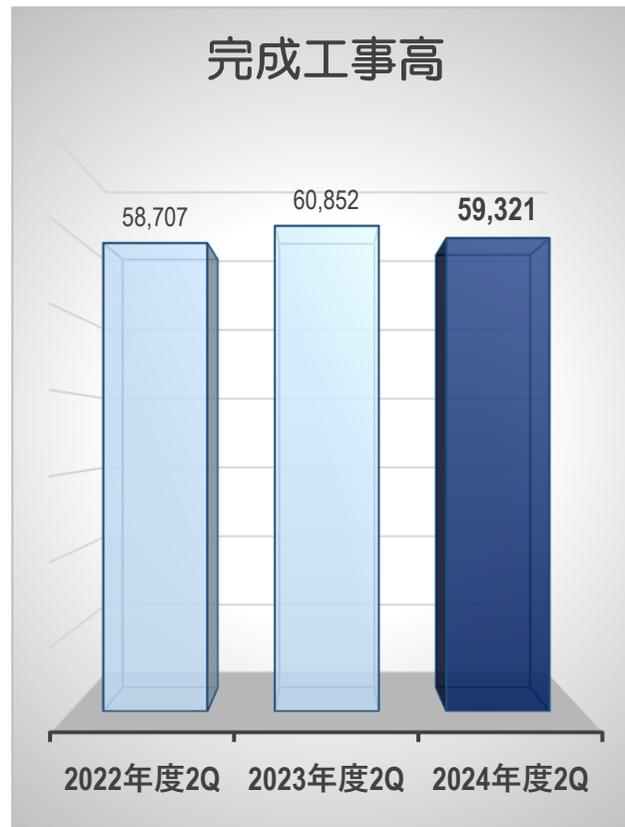
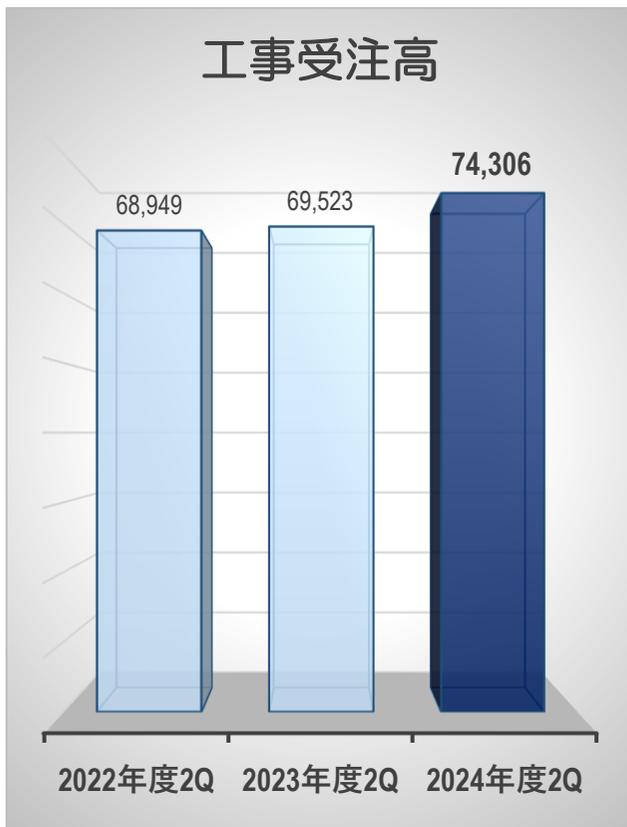
### 【建設事業】 【連結】

(単位：百万円)

《 連 結 》	工事受注高	完成工事高	完成工事利益	
2022年度2Q	68,949	58,707	8.1%	4,776
2023年度2Q	69,523	60,852	9.9%	6,042
2024年度2Q	74,306	59,321	10.8%	6,398

- 工事受注高 官庁大型案件、民間工事の直接受注が好調
- 完成工事高 官庁大型案件の工事進捗が下半期偏重となり微減
- 完成工事利益 下半期偏重の官庁工事を補う民間工事の収益改善と民間工事を中心に収益性が向上

(単位：百万円)



【工事受注高①】 【単体】

工事受注高 工種別内訳

(単位：百万円)

工 種	2022年度2Q		2023年度2Q		2024年度2Q	
	実 績	対前年 増減率	実 績	対前年 増減率	実 績	対前年 増減率
舗装工事	38,198	3.6%	39,997	4.7%	41,424	3.6%
土木工事	21,491	25.3%	21,675	0.9%	18,976	△12.5%
建築工事	290	346.6%	0	△100.0%	2,226	-
合 計	59,979	10.9%	61,673	2.8%	62,627	1.5%

- 2022年度2Q：大型の造成工事等の受注が貢献（土木工事）
- 2023年度2Q：官庁工事（主にNEXCO）の受注が牽引（舗装工事・土木工事）
- 2024年度2Q：官庁工事（主にNEXCO）の受注は前年度に引き続き好調  
民間工事ではシミズグループシナジー案件の受注が増加（舗装工事）

2024年度2Q 主な受注工事

発 注 者	工 事 名	工 事 場 所
中日本高速道路株式会社	中央自動車道（特定更新等）伊北IC～中津川IC間 舗装補修工事	長野県
西日本高速道路株式会社	令和6年度 山陽自動車道 岡山高速道路事務所管内舗装補修工事	岡山県
防衛省 北海道防衛局	北海道大演習場（6）道路等整備工事（5工区）	北海道
滋賀県甲賀市	水口スポーツの森多目的グラウンド人工芝改修工事	滋賀県
東京ガス不動産株式会社	大森クラブハウス 野球場人工芝化工事／ラグビー場人工芝化工事	東京都

【工事受注高②】 【単体】

工事受注高 得意先別内訳

(単位：百万円)

得意先		2022年度2Q		2023年度2Q		2024年度2Q				
		実績	対前年増減率	実績	対前年増減率	実績	対前年増減率			
官庁工事受注										
比率	官庁計	38%	22,522	22.1%	33%	20,603	Δ8.5%	38%	24,005	16.5%
民間工事受注										
比率	民間計	62%	37,457	5.1%	67%	41,070	9.6%	62%	38,622	Δ6.0%
官庁・民間合計										
受注金額合計			59,979	10.9%	61,673	2.8%		62,627	1.5%	

- 2022年度2Q：【官庁工事】防衛省他官庁工事の受注が好調  
【民間工事】コロナ禍で企業の設備投資マインドは慎重ではあるものの、前年度並の受注を確保
- 2023年度2Q：【官庁工事】NEXCO新設・諸官庁の受注は伸びたものの、NEXCO維持、国交省で苦戦  
【民間工事】重点3分野を含めた民間工事の受注も堅調に推移
- 2024年度2Q：【官庁工事】NEXCO大型案件の受注が好調  
【民間工事】受注高は減少したものの採算性を重視したうえで直接受注に注力

【工事受注高③】 【単体】

- ・自動車関連工事：テストコース、工場の舗装工事
- ・スポーツ関連工事：各種競技場、学校グラウンド、テニスコートなどのスポーツ施設工事
- ・物流関連工事：物流施設の舗装工事

重点3分野 工事受注内訳

(単位：百万円)

分 野	2022年度2Q		2023年度2Q		2024年度2Q	
	実 績	対前年 増減率	実 績	対前年 増減率	実 績	対前年 増減率
自動車関連工事	741	△20.9%	1,767	138.5%	2,215	25.4%
スポーツ関連工事	304	45.5%	59	△80.6%	723	-
物流関連工事	110	14.6%	169	53.6%	412	143.8%
合 計	1,155	△7.0%	1,995	72.7%	3,350	67.9%

2024年度2Q 重点3分野の主な受注工事

分 野	発 注 者	工 事 名	工事場所
自動車関連工事	株式会社トヨタユーゼック	(仮称)トヨタユーゼック小郡工事(1工区)(2工区)	福岡県
スポーツ関連工事	学校法人 花巻学院	花巻東高等学校 野球場・ソフトボール場人工芝化工事	岩手県
	学校法人 青山学院	相模原グラウンドトラック改修工事	神奈川県
物流関連工事	SGリアルティ 株式会社	佐川急便山形営業所/構内東側舗装改修工事	山形県

【完成工事高】 【単体】

工事売上高 工種別内訳

(単位：百万円)

工 種	2022年度2Q		2023年度2Q		2024年度2Q	
	実 績	対前年 増減率	実 績	対前年 増減率	実 績	対前年 増減率
舗装工事	34,109	△4.7%	36,227	6.2%	34,342	△5.2%
土木工事	17,692	11.4%	17,154	△3.0%	18,088	5.4%
建築工事	108	△74.2%	334	208.5%	73	△78.0%
合 計	51,910	△0.3%	53,716	3.5%	52,504	△2.3%

- 2022年度2Q：前期繰越工事高減少による期首の消化低迷により減少
- 2023年度2Q：大型手持案件の消化が順調に推移（舗装工事）
- 2024年度2Q：大型案件（舗装工事）の消化が下半期偏重となり2Qは減少

2024年度2Q 主な完成工事

発 注 者	工 事 名	工事場所
国土交通省 四国地方整備局	令和5-6年度 南国安芸道路下井地区舗装第1工事	高知県
国土交通省 九州地方整備局	令和5年度 福岡空港滑走路増設滑走路新築工事（第3次）	福岡県
西日本高速道路株式会社	令和4年度 山陽自動車道岡山高速道路事務所管内舗装補修工事	岡山県
北海道 函館市	市営函館競輪場競争路表面処理等工事	北海道
学校法人 佐藤栄学園	平成国際大学 サッカー場・野球場改修工事	埼玉県

【次期繰越工事高】 【単体】

次期繰越工事高 工種別内訳

(単位：百万円)

工 種	2022年度2Q		2023年度2Q		2024年度2Q	
	実 績	対前年 増減率	実 績	対前年 増減率	実 績	対前年 増減率
舗装工事	46,924	△2.9%	45,113	△3.9%	54,942	21.8%
土木工事	23,635	△2.6%	26,873	13.7%	30,136	12.1%
建築工事	521	74.5%	35	△93.1%	2,157	-
合 計	71,081	△2.5%	72,022	1.3%	87,236	21.1%

- 2022年度2Q：大型の造成工事等が繰越（土木工事）
- 2023年度2Q：官庁、民間ともに大型の土木工事、舗装工事が繰越
- 2024年度2Q：大型官庁工事の進捗が下半期偏重のため繰越が増加

2024年度2Q 主な次期繰越工事

発 注 者	工 事 名	完成予想年月
国土交通省 東京航空局	東京国際空港誘導路等改修工事	2025年3月
防衛省 北関東防衛局	入間(5)誘導路整備等土木その他工事	2025年3月
中日本高速道路株式会社	北陸自動車道（特定更新等）敦賀管内舗装補修工事（2023年度）	2026年8月
旭メガソーラー美咲発電株式会社	旭メガソーラー美咲発電所 自営線工事における土木工事	2025年3月
株式会社トヨタユーゼック	（仮称）トヨタユーゼック小郡工事（1工区） / （2工区）	2026年1月

【海外事業】

海外現地法人受注

(単位：百万円)

会社名	2022年度2Q		2023年度2Q		2024年度2Q	
	実績	対前年増減率	実績	対前年増減率	実績	対前年増減率
タイ日本道路株式会社	264	△72.4%	286	8.7%	3,630	-
日本道路マレーシア株式会社	2,076	550.5%	715	△65.5%	413	△42.2%
合計	2,341	83.4%	1,002	△57.2%	4,044	303.3%

- ・タイ日本道路（株）で、タイ国工業省の自動車・タイヤ試験・研究・イノベーションセンター高速周回路建設工事を受注（工期は2026年11月までの予定）
- ・日本道路マレーシア（株）は受注競争が厳しく苦戦

主な受注工事

会社名	区分	2024年度2Q
タイ日本道路株式会社	工事名	自動車・タイヤ試験・研究・イノベーションセンター高速周回路建設工事(ATTRIC)
	得意先名	Thai Industrial Standard(TISI) : タイ国工業省工業企画局
日本道路マレーシア株式会社	工事名	南北高速道路ほか2024年度舗装補修およびその他工事
	得意先名	Edgenta Infrastructure Services Sdn Bhd : エジェンタインフラストラクチャー サービスーズ株式会社

【タイ】自動車・タイヤ試験・研究・イノベーションセンター高速周回路建設工事(ATTRIC)



【マレーシア】南北高速道路ほか2024年度舗装補修およびその他工事



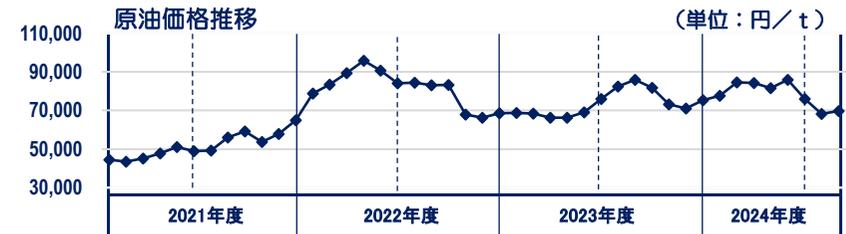
2023年度施工状況

## 《セグメント別業績推移②》

### 【製造・販売事業】

(単位：千ト、百万円)

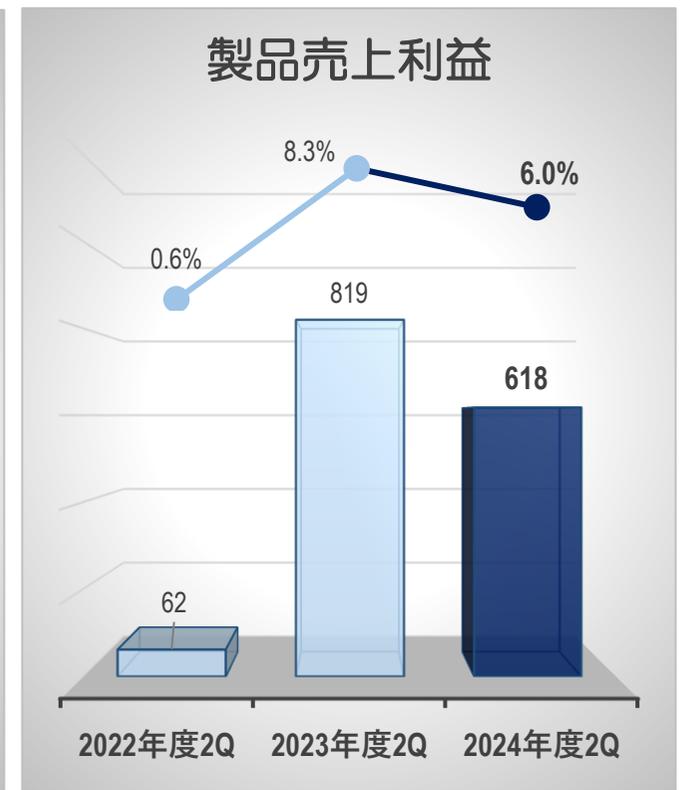
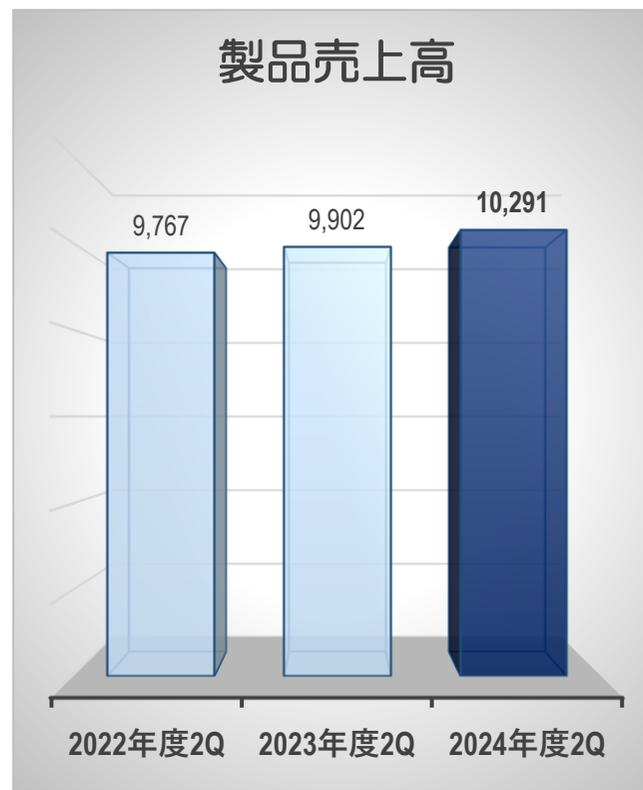
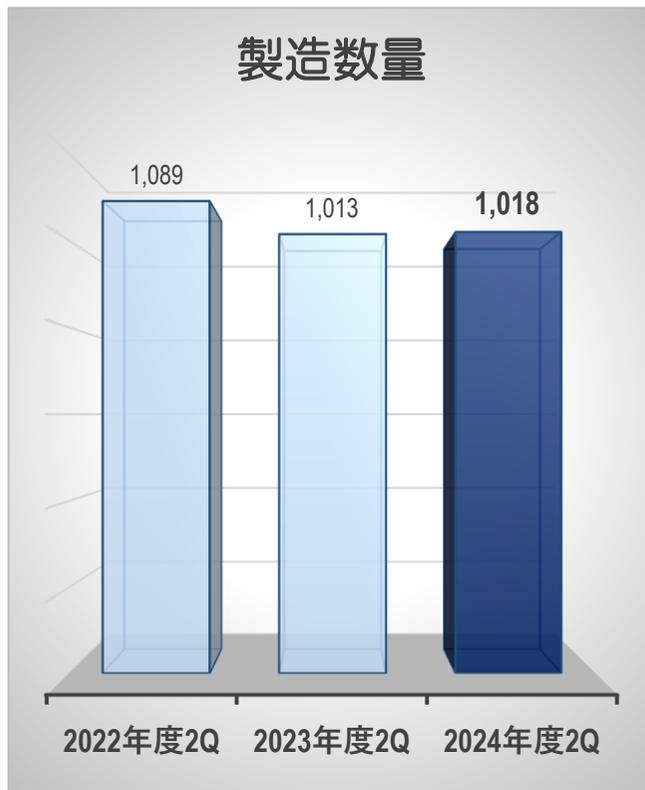
《連結》	業界総数量	製造数量	シェア	製品売上高	製品売上利益	
2022年度2Q	16,676	1,089	6.5%	9,767	0.6%	62
2023年度2Q	15,825	1,013	6.4%	9,902	8.3%	819
2024年度2Q	15,213	1,018	6.7%	10,291	6.0%	618



※ドバイ原油FOB価格(ドル/バレル)に調整金を加減。  
為替レート(TTS)を乗じ、さらに1000/159(t換算)  
を乗じて計算した円/t

原油価格高騰・円安の影響により売上利益減

(単位：千ト、百万円)



## 《セグメント別業績推移③》

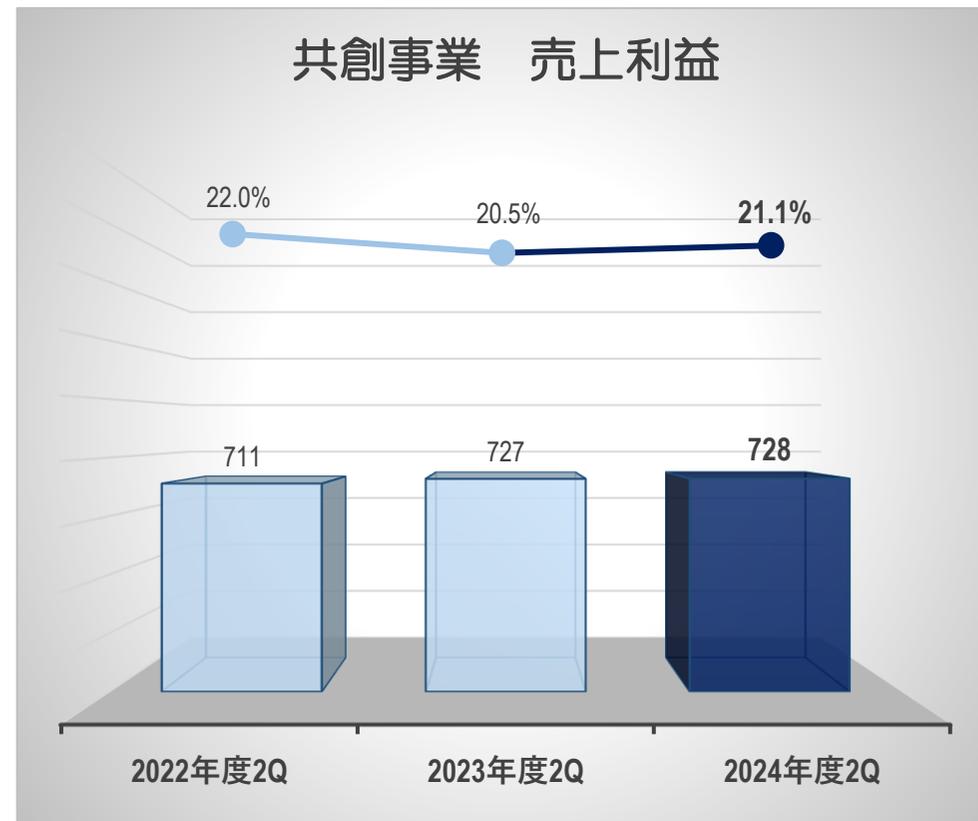
### 【共創事業】

(単位：百万円)

《 連 結 》	共創事業 売上高	共創事業 売上利益
2022年度2Q	3,235	22.0% 711
2023年度2Q	3,541	20.6% 727
2024年度2Q	3,450	21.1% 728

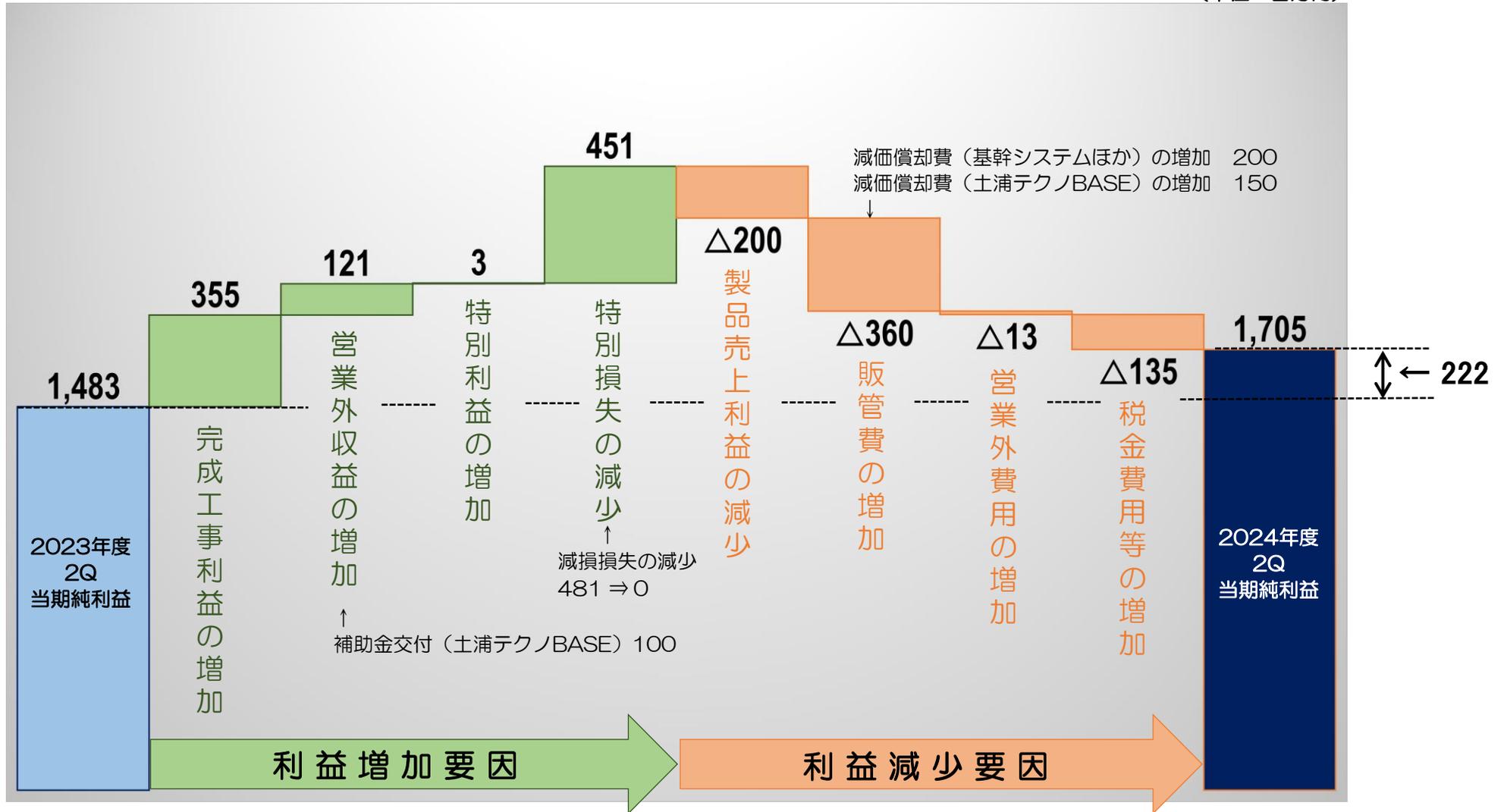
- エヌディーリース・システム(株) 総合リース業、各種資材販売、コンピュータソフトウェアの開発及び販売、事務用機器販売
- エヌディック(株) 保険代理業
- スポーツメディア(株) スポーツ施設等の企画・運営

(単位：百万円)



《当期純利益の増減要因分析》

(単位：百万円)



《2025年3月期第2四半期 貸借対照表》

	2023年度 4Q	2024年度 2Q	対前年 増減
<b>資 産 の 部</b>			
<b>流動資産</b>	109,042	104,312	△4,730
現金預金	33,601	33,703	103
受取手形・完成工事未収入金 電子記録債権等	62,713	57,298	△5,415
リース債権及びリース投資資産	8,067	8,174	106
棚卸資産	1,382	1,347	△35
その他	3,276	3,788	511
<b>固定資産</b>	40,883	40,816	△66
<b>有形固定資産</b>	35,657	35,881	223
建物・構築物	24,521	24,434	△87
機械、運搬具及び 工具器具備品	40,491	40,571	80
賃貸資産	4,227	4,393	166
土地	17,035	17,222	186
建設仮勘定	164	328	163
減価償却累計額	△50,783	△51,069	△285
<b>無形固定資産</b>	2,180	2,036	△144
<b>投資その他の資産</b>	3,044	2,898	△145
投資有価証券	1,624	1,671	46
その他	1,420	1,227	△192
<b>資産合計</b>	<b>149,926</b>	<b>145,128</b>	<b>△4,797</b>

(単位：百万円)

	2023年度 4Q	2024年度 2Q	対前年 増減
<b>負 債 の 部</b>			
<b>流動負債</b>	40,430	35,480	△4,950
支払手形・工事未払金 電子記録債務等	29,939	26,286	△3,652
短期借入金	1,000	200	△800
引当金	208	215	6
その他	9,282	8,778	△504
<b>固定負債</b>	9,281	10,253	972
長期借入金	8,700	9,700	1,000
退職給付に係る負債	251	216	△34
その他	330	337	7
<b>負債合計</b>	<b>49,711</b>	<b>45,734</b>	<b>△3,977</b>
<b>純 資 産 の 部</b>			
<b>株主資本</b>	99,693	98,758	△934
資本金	12,290	12,290	0
資本剰余金	14,523	14,523	0
利益剰余金	72,884	71,951	△933
自己株式	△4	△5	△0
その他の包括利益累計額	358	458	100
非支配株主持分	162	176	13
<b>純資産合計</b>	<b>100,214</b>	<b>99,394</b>	<b>△819</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>149,926</b>	<b>145,128</b>	<b>△4,797</b>

《2025年3月期第2四半期 キャッシュ・フロー計算書》

(単位：百万円)

	2022年度2Q	2023年度2Q	2024年度2Q	対前年 増減
現金及び現金同等物の期首残高	30,158	38,129	※1 33,585	△ 4,543
営業活動によるキャッシュフロー	6,004	3,745	4,768	1,022
投資活動によるキャッシュフロー	2,548	△ 2,700	△ 2,290	409
財務活動によるキャッシュフロー	△ 147	875	※2 △ 2,440	△ 3,316
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	8,512	1,952	100	△ 1,852
現金及び現金同等物の期末残高	38,671	40,081	33,685	△ 6,395

【対前年増減の主な理由】

※1 取引業者への支払い条件現金化により減少

※2 前年度は長期借入金の借入により+3,140百万円

# 2025年3月期業績予想

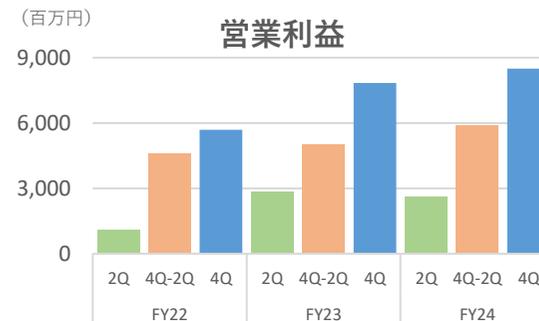
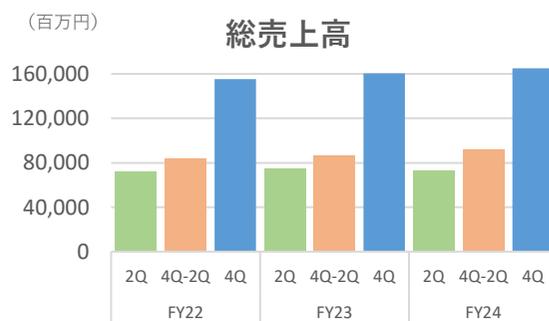
## 《2025年3月期 業績予想》

- 原材料価格の高騰、為替や海外情勢等、先行き不透明感があるものの、賃上げによる個人消費や企業の設備投資マインドの上昇により回復基調で推移すると見込んでいる。

(単位：百万円)

《 連 結 》	2022年度実績			2023年度実績			2024年度実績・予想・計画				4Q予想	
	2Q	4Q	4Q-2Q	2Q	4Q	4Q-2Q	2Q	4Q予想	4Q-2Q	計画	対前年 増減	対前年 増減率
受注高 (建設事業)	68,949	127,896	58,946	69,523	143,513	73,989	74,306	138,000	63,693	138,000	△ 5,513	△3.8%
総売上高	71,709	155,353	83,643	74,295	160,519	86,223	73,063	165,000	91,936	165,000	4,481	2.8%
営業利益	1,092	5,695	4,603	2,817	7,833	5,016	2,612	8,500	5,887	8,500	667	8.5%
	1.5%	3.7%	5.5%	3.8%	4.9%	5.8%	3.6%	5.2%	6.4%	5.2%		
経常利益	1,264	5,920	4,656	2,910	7,994	5,084	2,812	8,600	5,787	8,600	606	7.6%
	1.8%	3.8%	5.6%	3.9%	5.0%	5.9%	3.8%	5.2%	6.3%	5.2%		
当期純利益	2,281	5,704	3,422	1,483	5,053	3,570	1,705	5,200	3,494	5,200	147	2.9%
	3.2%	3.7%	4.1%	2.0%	3.1%	4.1%	2.3%	3.2%	3.8%	3.2%		

【受注・総売上高・各利益】 期末は計画通りの見込み



## 《セグメント別取組方針①》

### 【建設事業】

(単位：百万円)

《連結》	2022年度実績			2023年度実績			2024年度実績・予想・計画				4Q予想	
	2Q	4Q	4Q-2Q	2Q	4Q	4Q-2Q	2Q	4Q予想	4Q-2Q	計画	対前年 増減	対前年 増減率
工事受注高	68,949	127,896	58,946	69,523	143,513	73,989	74,306	138,000	63,693	138,000	△ 5,513	△3.8%
完成工事高	58,707	126,743	68,036	60,852	131,578	70,726	59,321	134,000	74,678	135,000	2,422	1.8%
完成工事利益	4,776	12,437	7,661	6,042	14,501	8,458	6,398	15,800	9,401	15,600	1,299	9.0%
	8.1%	9.8%	11.3%	9.9%	11.0%	12.0%	10.8%	11.8%	12.6%	11.6%		

【受注】・引き続き官民共に直接受注に注力  
・官庁大型案件の発注は上半期偏重傾向

→ 消化体制もあり期末は計画通りの見込み

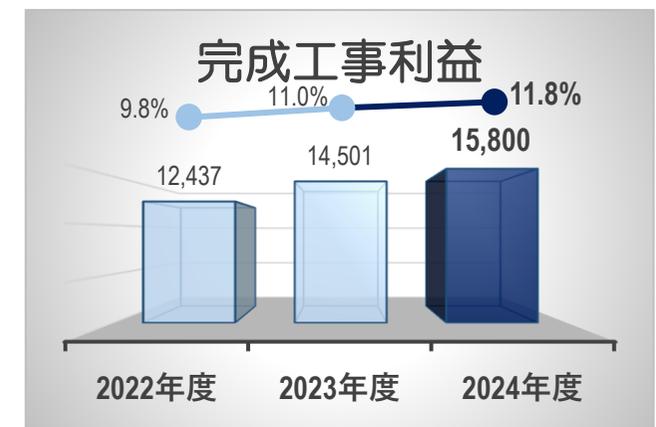
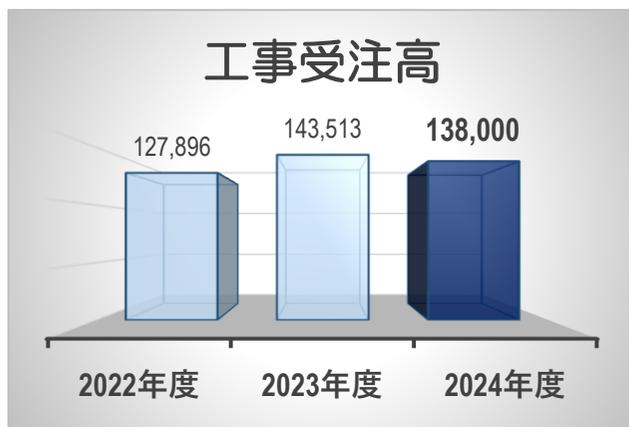
【売上】・前年度より下半期偏重傾向

→ 消化の関係により期末は計画比△1,000百万円の見込み

【利益】・受注時採算性、受注後協議による適正な変更契約、  
三現主義の徹底により工事収益性を向上

→ 期末は計画比+200百万円の見込み

(単位：百万円)



## 《セグメント別取組方針②》

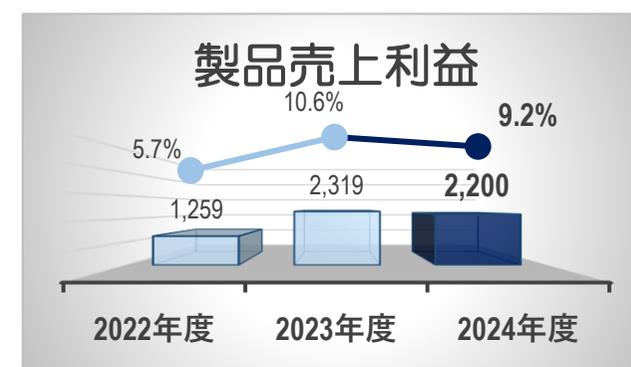
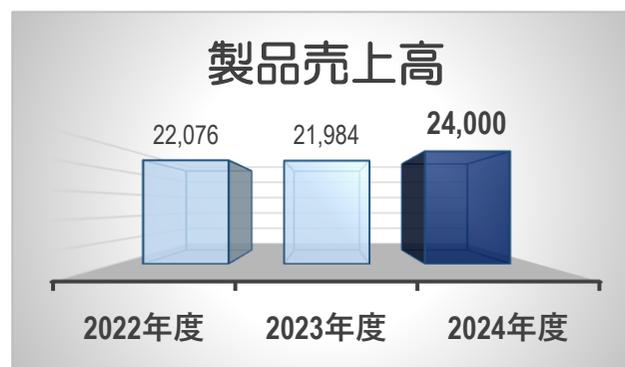
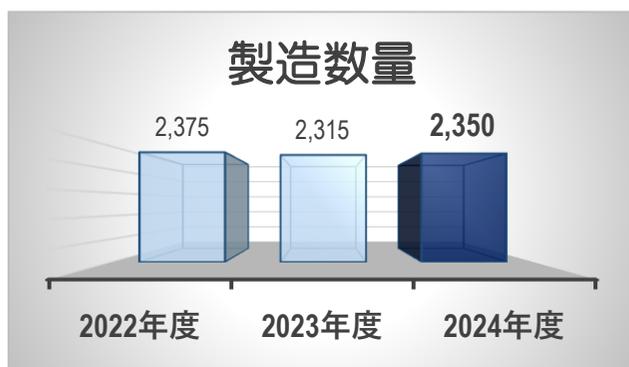
### 【製造・販売事業】

(単位：千ト、百万円)

《連結》	2022年度実績			2023年度実績			2024年度実績・予想・計画				4Q予想	
	2Q	4Q	4Q-2Q	2Q	4Q	4Q-2Q	2Q	4Q予想	4Q-2Q	計画	対前年増減	対前年増減率
業界総数量	16,676	36,727	20,051	15,825	34,493	18,668	15,213	34,000	18,786	34,000	△ 493	△1.4%
製造数量	1,089	2,375	1,286	1,013	2,315	1,302	1,018	2,350	1,331	2,350	35	1.5%
シェア	6.5%	6.5%	6.4%	6.4%	6.7%	7.0%	6.7%	6.9%	7.1%	6.9%		0.2pt
製品売上高	9,767	22,076	12,309	9,902	21,984	12,082	10,291	24,000	13,708	23,000	2,016	9.2%
製品売上利益	62	1,259	1,197	819	2,319	1,500	618	2,200	1,581	2,400	△ 119	△5.1%
	0.6%	5.7%	9.7%	8.3%	10.6%	12.4%	6.0%	9.2%	11.5%	10.4%		

- 【シェア】・グループ会社との連携営業等により製造数量を確保 → 期末の製造数量は計画通りの見込み
- 【売上】・主要資材(アスファルト)の価格、人件費、燃料・電気代、運送費の高騰分は適正な価格転嫁を継続 → 期末は計画比+1,000百万円の見込み
- 【利益】・原油価格動向は先行き不透明、為替は円安傾向 → 期末は計画比△200百万円の見込み

(単位：千ト、百万円)



## 《セグメント別取組方針③》

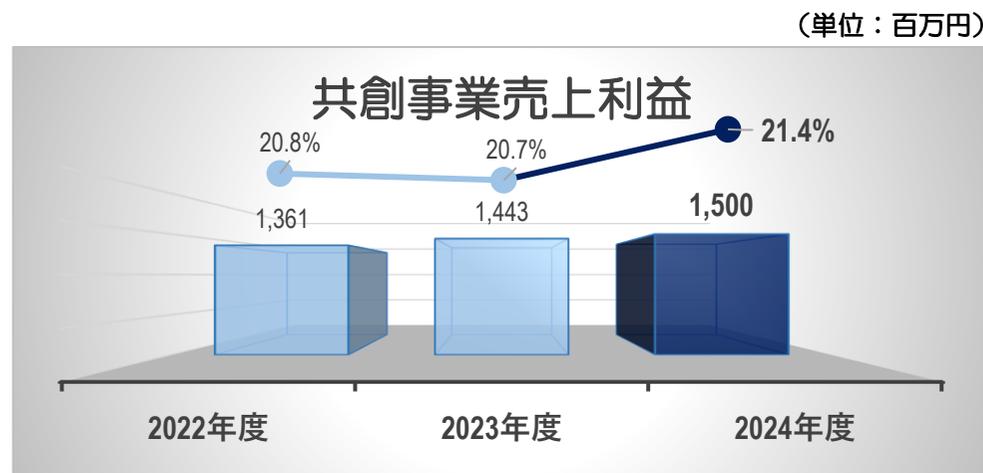
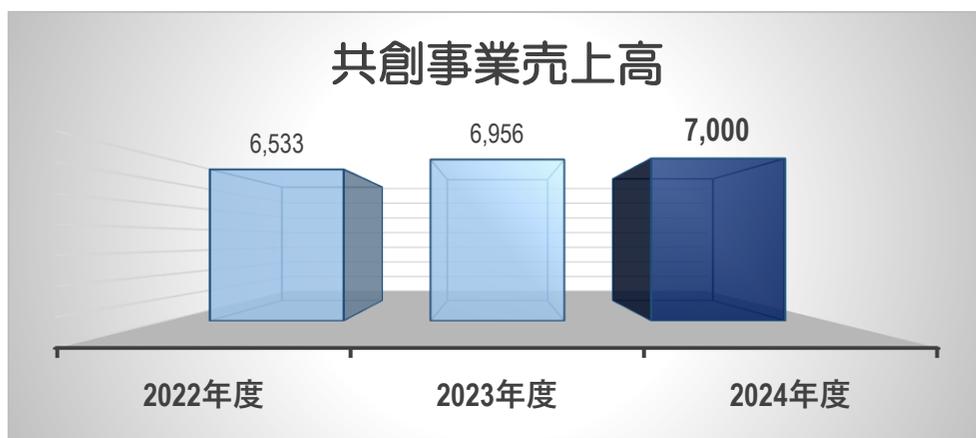
### 【共創事業】

(単位：百万円)

《連結》	2022年度実績			2023年度実績			2024年度実績・予想・計画				4Q予想	
	2Q	4Q	4Q-2Q	2Q	4Q	4Q-2Q	2Q	4Q予想	4Q-2Q	計画	対前年増減	対前年増減率
共創事業売上高	3,235	6,533	3,297	3,541	6,956	3,414	3,450	7,000	3,549	7,000	44	0.6%
共創事業売上利益	711	1,361	650	727	1,443	715	728	1,500	771	1,500	57	3.9%
	22.0%	20.8%	19.7%	20.6%	20.7%	20.9%	21.1%	21.4%	21.7%	21.4%		

- ・リース事業、商事事業の拡大 : マルチJobCar等独自開発車両、特殊車両の拡販、安全商材の拡販
- ・M&Aによる事業領域の拡大 : スポーツ関連事業、環境関連（リサイクル）事業、健康関連事業
- ・PPP/PFI事業への参画 : 交通インフラアセットマネジメント、スポーツ・公園施設PFI

【売上・利益】 期末は計画通りの見込み



道からはじまる街づくり



# TOPICS

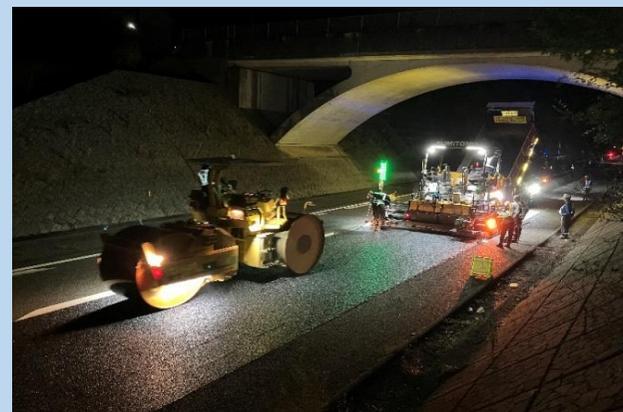


TOPICS

《完成工事》



R5-6年度南国安芸道路下井地区舗装第1工事



令和4年度 山陽自動車道 岡山高速道路事務所管内舗装補修工事



市営函館競輪場競走路表面処理等工事



平成国際大学 サッカー場・野球場改修工事

TOPICS

《中期経営計画2024》施策進捗状況

働き方改革から働きがい改革へ

DE&Iの推進



		2024	2025	2026
人事制度	社員区分見直し	継続実施	継続実施	継続実施
	雇用期間延長	継続実施	継続実施	継続実施
社員教育	社員研修	土浦テクノBASEの活用	継続実施	継続実施
	資格取得支援	継続実施	継続実施	継続実施
環境整備	各所拠点整備	継続実施	継続実施	継続実施
	DX推進	IT・AIの活用	継続実施	継続実施
DE&I	健康経営	継続実施	健康経営優良法人	継続実施
	働きがい改革	継続実施	えるぼし・くるみん認定	継続実施

【人財】



土浦テクノBASE新入社員研修（2024.4～9）

TOPICS

《中期経営計画2024》施策進捗状況

提供サービスの品質と収益性の向上

【技術開発】

骨材リサイクル技術



アスファルト代替舗装



カーボン固定舗装



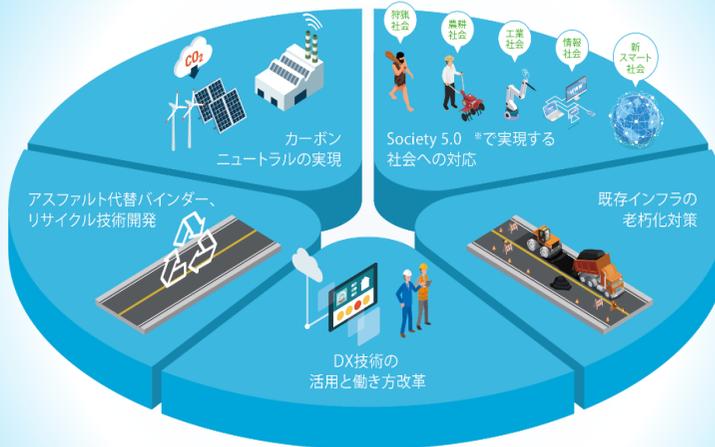
太陽光発電舗装



無人化施工



道の先の「未知」を切り拓く  
Nichido Mirai Tech-Plan 2050



セルフヒーリング



舗装診断技術



出来形測定技術



TOPICS

《中期経営計画2024》施策進捗状況

提供サービスの品質と収益性の向上

【環境対策】

都市ガス化



美しく豊かな地球を次の世代に

Nichido Blue&Green Vision2050

廃食油の活用



廃PETの再利用



拡販中



廃漁網の再利用



間伐材・廃材の有効活用



TOPICS

《中期経営計画2024》施策進捗状況

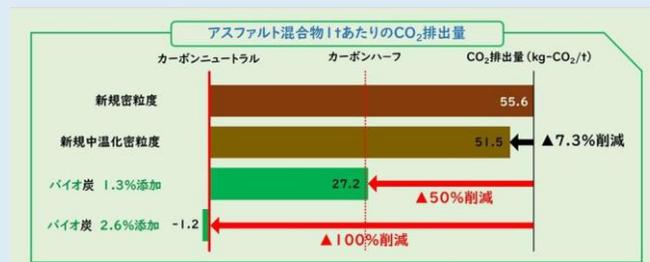
【環境対策】

- 全国6箇所のプラントで廃食油の使用
- 全国5箇所のプラントで都市ガス化

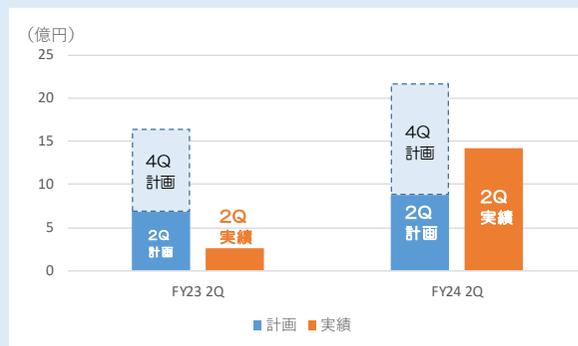


(箇所)	実施済	以後予定	計
廃食油活用	6	8	14
都市ガス化	5	5	10
再エネ電力	39	17	56

【清水建設シナジー】



バイオ炭アスコンを製品化 2024.8



シナジー案件※ (民間) 受注工事推移

※清水建設と連携して当社が直接受注した案件

TOPICS

《中期経営計画2024》施策進捗状況

共創事業



リッソルスト（福岡県）子会社化 2024.4



tenka jai テニスクラブ（岩手県）事業承継 2024.7



伊藤建設工業（青森県）子会社化 2024.10

IR・CSR活動



土浦カセイBASEご案内（投資家）2024.9



グリーンマイルージョージング「TOKYOマイル」2024.10

参考資料

## 《 会社概要 》

会 社 名	日本道路株式会社
設 立 年 月 日	1929年（昭和4年）3月10日
本 社 所 在 地	東京都港区芝浦一丁目2番3号
代 表 者	代表取締役社長 石井 敏行
資 本 金	122億 9,026万円
従 業 員 数	1,622名
上 場 証 券 取 引 所	東京証券取引所プライム市場
発行可能株式総数	175,000,000株
発行済株式総数	43,946,340株
単 元 株 式 数	100株

2024年3月31日現在

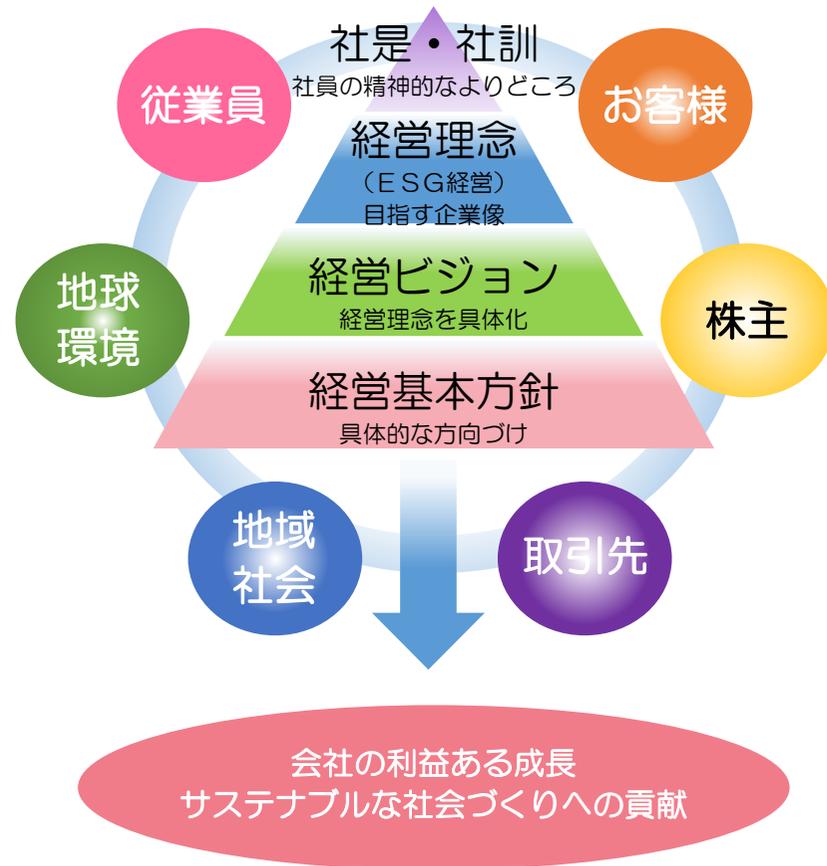
## 【事業拠点】 2024年9月30日現在

本 社	東京都港区	
	技術研究所	茨城県土浦市
	土浦テクノBASE	茨城県土浦市
支 店	東京支店	東京都大田区
	北関東支店	埼玉県さいたま市
	中部支店	愛知県名古屋市
	関西支店	大阪府大阪市
	四国支店	香川県高松市
	中国支店	広島県広島市
	九州支店	福岡県福岡市
	北信越支店	新潟県新潟市
	東北支店	宮城県仙台市
	北海道支店	北海道札幌市
営業拠点	52 営業所、24 出張所、18 工事事務所 89 製造・販売拠点	

## 【関係会社】… 連結対象

地域舗装会社	…	34 社
国内直轄子会社	…	5 社
海外直轄子会社	…	2 社
その他	…	2 社

《 企業理念 》



『論語と算盤』（清水建設社是）

【社是】

「創意研鑽」「協調親和」「信用高揚」

【社訓】

- 一、創意を活かし技術の向上と業務の改善に努めよう
- 一、責任を自覚し緻密な計画と果敢な実行に徹しよう
- 一、誠意を尽くし相互の協調と秩序の確立に努めよう
- 一、身心を健全にし明朗な職場と幸福な家庭を築こう
- 一、社業に専念し会社の繁栄を通じて社会に貢献しよう

【経営理念】

ESG経営を推進することによって、社会から信頼され、存続を望まれる企業になるとともに、持続可能な社会づくりに貢献する

【経営ビジョン】

- 「従業員を大切にする会社」
- 「道路建設を通じて社会に貢献する」
- 「コーポレートガバナンスの充実」

【経営基本方針】

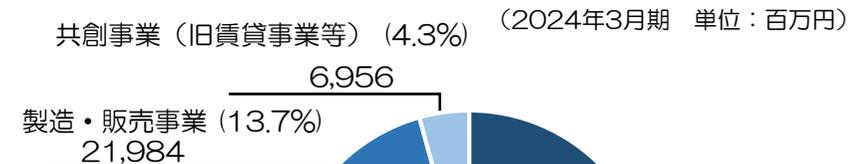
- 安全衛生方針：人命尊重を最優先した安全第一主義を徹底し、労働安全衛生マネジメントシステムを継続的に改善、「安全文化」を定着させる
- 品質方針：全てのステークホルダーから高い信頼と評価を得る企業として持続的な発展を目指すよう品質マネジメントシステムを実行し継続的に改善する
- 環境方針：環境ビジョン「Nichido Blue & Green Vision 2050」に則り、地球環境負荷低減に向け環境マネジメントシステムを推進し、持続可能な地球環境の実現に貢献する

## 《日本道路グループのビジネス》

### 【主な事業】

建設事業	舗装・土木・建築工事、その他建設工事全般に関する事業
製造・販売事業	アスファルト合材・乳剤、その他舗装用材料の製造・販売・リサイクルに関する事業
共創事業	自動車・事務用機器等のリース業務等、不動産業、コンピュータソフトウェアの開発及び販売、事業用機器の販売、保険代理業、スポーツ施設等の企画・運営他

### 【連結セグメント別売上高】

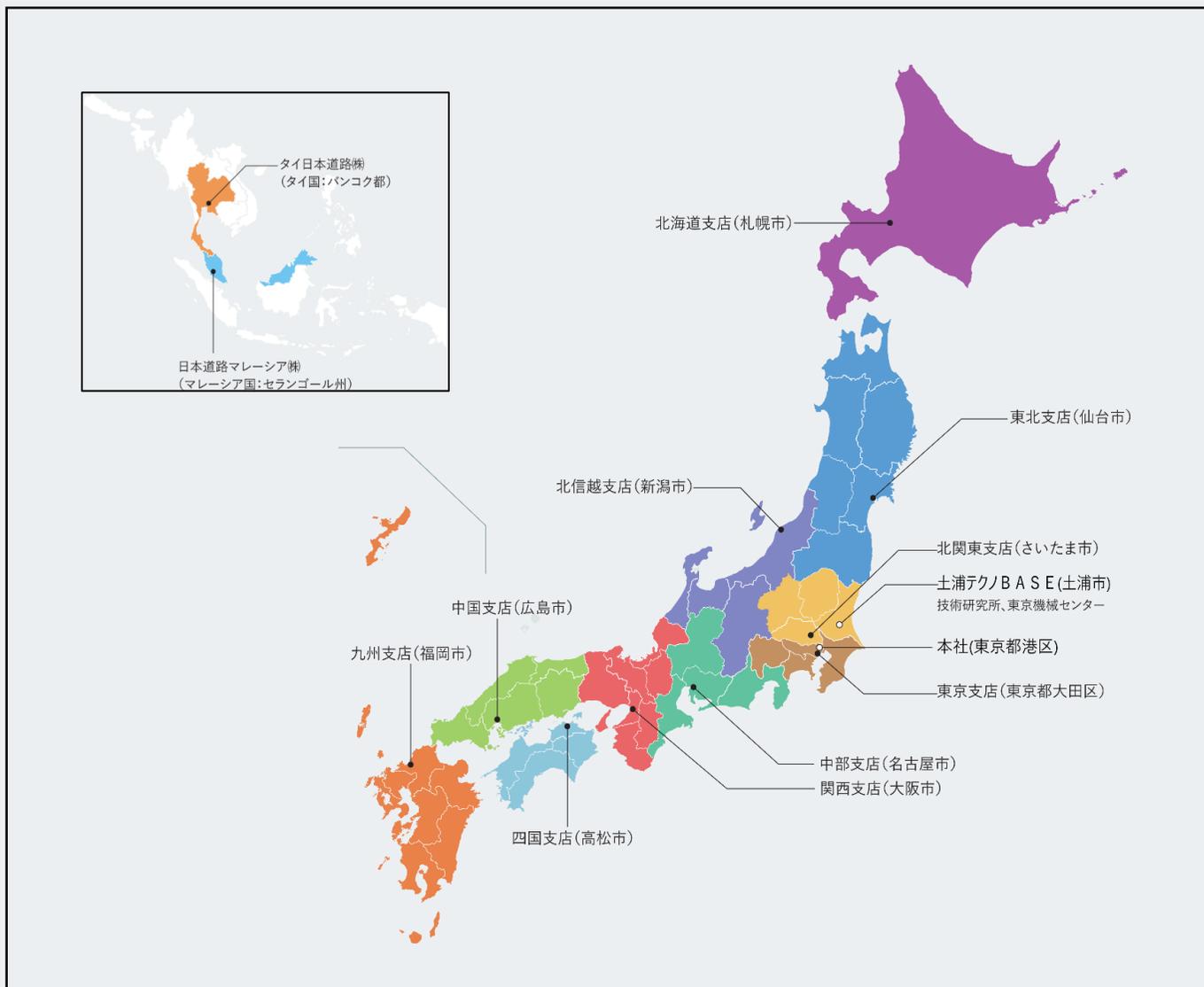


建設事業（82.0%）  
131,578

#### 【建設事業内訳】

日本道路（個別）	115,921
地域舗装会社合計（34社）	17,835
海外拠点	2,342
国内直轄子会社（2社）	830
計	136,929
連結消去	△ 5,351
建設事業計	131,578

事業拠点のご案内



《国内直轄子会社》

- ・エヌディーリース・システム株式会社  
総合リース業、各種資材販売、  
コンピュータソフトウェアの開発及び  
販売、事業用機器の販売
- ・エヌディック株式会社  
保険代理業
- ・スポーツメディア株式会社  
スポーツ施設等の企画・運営
- ・環境緑化株式会社  
造園業

《地域舗装会社》

日本道路単体の施工体制強化を目的に、1993年(平成5年)頃から、全国各エリアで「施工子会社」を順次立ち上げました。当時、ほぼ全てが日本道路からの下請案件でしたが、その後、公共工事の地元要件強化(地産地消)の流れから、地域に根ざし、各社の「独自性」をより鮮明に打ち出した現在の「地域舗装会社」へと発展し、2024年9月末現在、全国各地に34社展開しています。各地域舗装会社は、日本道路単体の営業所に隣接して事業所を構えています。



## 未来志向宣言

私達は、創業100年に向け、創意研鑽に励み、時代の変化をいち早く読み取り、サステナブルな社会づくりに必要とされる企業となることを、日本道路グループ役員一丸となって目指していくことを宣言します

本資料における、日本道路グループの将来についての計画や施策、業績に関する事項の記述に関しては、当社が現時点で把握可能な情報から判断した仮定および所信に基づくものであり、将来の業績は、今後の事業環境の変化等、様々な要因により、当社の見込みとは異なる可能性があります。

### 問合せ先

経営企画部長 和田 勝利

電話：03-4235-3626